

モニターの

注目

今月は、浅野 竜さんが笠岡の海の玄関「笠岡港」と「伏越港」に注目します。

11月13日、住吉県営棧橋がリニューアルされました。全長50m、幅9m、シンプルなデザイン、全体がグリーンの屋根で覆われてもう雨の日も心配ありません。

7つの有人島を持つ笠岡市の海の玄関笠岡港とその周辺環境について今一度考えてみたいと思います。

◎潮の干満差が3m以上

瀬戸内海の潮の満ち引きは、干満の差が3m以上と激しく、時刻に関係なく船を泊めて乗り降りできる浮き棧橋は必要不可欠です。

島の高齢化が進んでいる昨今では、救急艇が夜中に患者を運んでくることもしばしば。

しかし、以前の笠岡港の湾



でも、最近潮の干満差が以

前より激しくなったような気がしてならないのです。地球が温暖化したせいなのか、今年の台風被害は記憶に生々しいところですが、これは何十年に一度のことではなく今後起こりうる現象として、それに耐えうる港湾設備を市と県が一体となって総合的に整備する必要があるのではないのでしょうか。

◎限られた棧橋と

少ない係留施設

島から定期船で笠岡に行くには、大抵の場合笠岡港と伏越港に限られます。定期船はバスや電車のようなもの。

島の人が都合のよい時間に病院や買い物に行くには、自家用車ならぬ自家用船をもつて走らさなければなりません。

と言っても、笠岡湾周辺には船の留め場がないという声をよく耳にします。人に限らず、島からの海産物や農産物が陸揚げされる場合も、また

逆に毎日の郵便物・新聞・日用品から学校の給食といったものすべてがこれらの棧橋を介して行き来するのですが、島の人が便利に使える施設は

十分整備されているとは言えないように思います。

◎笠岡諸島への入口として

夏にはよく「島へ行くにはどうしたらいいのですか？」と聞かれます。そのときは必ず人だけ行くのか、車で行くのか、どの島へ行くのか、泊まりで行くのかなど、かなりの質問をしなければ答えてあげられないことが多いのです。

それほど笠岡の島へ渡るアクセスは、外から来た人にとってはわかりにくいのではないのでしょうか。誘導看板にしても、国道2号線にわずか2〜3枚の小さなものがあるだけです。しかも「笠岡港」「伏越港」「笠岡港乗場」と文字

笠岡が観光都市として売り出せない致命傷がここにあるのではないのでしょうか。

◎私たちの誇りについて

「笠岡の好きなところは」と聞かれると、「海や島がある」と答える人も多いでしょう。事実私も海が大好きです。穏やかな海は心を和やかにしてくれ、荒れた海はその力強いエネルギーで勇気を与えてくれます。

しかし、そんな海を生活の場としている島の人たちにとってはプラス面ばかりではないはず。急速に過疎化が進む中で、海援隊の働きかけによって島の人たちの意識も変わってきました。

お客さんを歓迎しているようには思えません。そして、お客さんには最後に行ってもおそろく車は停められませんよ」

このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についてのイラ立ち」があれば併せてどうぞ。

お便り：〒七一四一八六〇一 笠岡市中央町一一一 まちづくり推進課モニター係

TEL 082-21110 FAX 082-21180